
「熱中症ゼロへ」プロジェクト2017 がスタート！
「熱中症ゼロへ」プロジェクト シンポジウム開催
～夏季スポーツ時の熱中症対策ほか、熱中症の最新情報を解説～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、会長：石川裕己）が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、2017年度における活動のキックオフとして、2017年4月25日（火）に毎日ホール(千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル地下1階)にて、「熱中症ゼロへ」プロジェクト シンポジウムを開催します。

「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまふ方をゼロにすることを目指して、2013年度より日本気象協会が推進しているプロジェクトです。

本シンポジウムでは、今年の夏の暑さと傾向についての気象予報士による解説や、近年の熱中症の症例に関する医師による解説のほか、大学と共同で開発した「熱中症予防に役立つ新しいコンテンツ」を初公開します。ディスカッションでは、夏季のスポーツ時における熱中症対策について海外の国際大会で活躍するスポーツトレーナーをまじえて、今後開催されるスポーツイベントなども見据えた議論を行います。

「熱中症ゼロへ」プロジェクトは、2017年度も本シンポジウムを皮切りに熱中症予防啓発活動に取り組んでまいります。

「熱中症ゼロへ 2017 シンポジウム」

日時：2017年4月25日（火）16:00～18:00（開場15:30）

会場：毎日ホール（千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル地下1階）

内容：開会 日本気象協会 常務理事 事業本部長 古市信道

講演 1.「天候の変化と今年の暑さと傾向について」

日本気象協会 気象予報士 石樽亜紀子

2.「熱中症のメカニズムや対策、近年の傾向と症例」

帝京大学医学部教授 帝京大学病院救命救急センター長 三宅康史 氏

3.「新しい熱中症予防コンテンツの発表とその解説」

名古屋工業大学大学院教授 平田晃正 氏

パネルディスカッション

テーマ「スポーツと都市の熱中症について」～スポーツを“する人”、“観る人”、“運営に携わる人”～

パネリスト：特定非営利活動法人NSCAジャパン 澤野博 氏

帝京大学医学部教授 帝京大学病院救命救急センター長 三宅康史 氏

コーディネーター：日本気象協会 気象予報士 石樽亜紀子

主催：一般財団法人日本気象協会

「熱中症ゼロへ」プロジェクト運営事務局

協力：毎日新聞社



■「熱中症ゼロへ」プロジェクトとは

熱中症にかかる方を減らし、亡くなってしまふ方をゼロにすることを目指して、日本気象協会が推進するプロジェクトです。熱中症は、正しく対策を行うことで防げます。熱中症の発生に大きな影響を与える気象情報の発信を核に、より積極的に熱中症対策を呼びかけていきます。2013年夏にプロジェクトを発足、5年目となる2017年はこれまでの活動に加え、新たな取り組みも始動します。

■一般財団法人 日本気象協会について

1950年に誕生した日本気象協会は、天気予報に代表される気象予測事業に加え、再生可能エネルギー、環境アセスメント、大気解析事業、防災・減災・安全管理に関する事業など、気象に関するコンサルティング事業を通じ、公共に資する企業活動を展開しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

「熱中症ゼロへ」プロジェクト PR事務局 担当：佐藤・畑

TEL：03-6825-3020 / FAX：03-6685-5266 / MAIL：netsuzero@vectorinc.co.jp